

湖 頭

令和3年1月18日
富士市立須津小学校
学校だより（学校評価号）

学校評価アンケートの結果をご報告します。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのご配慮、誠にありがとうございます。

さて、昨年末にご協力いただいた「学校評価アンケート」の集計が終わりましたので、成果と課題及び今後の学校の取組について、簡単ではありますが、ご報告いたします。（数値は「そう思う」・「どちらかと言えばそう思う」の合計です。）

1 学校評価アンケートの数値(太字 数値の上がっている項目)

	項目		児童(%)	保護者(%)
1	自分はたくましいと思う。 子どもたちはたくましい子に育っている。	令和元年度	65.1	85.6
		令和2年度	64.6	90.2
2	学校に行くのは楽しい。 子どもたちは学校を楽しんでいる。	令和元年度	86.6	92.2
		令和2年度	88.6	93.2
3	失敗を怖れず挑戦している。 子どもたちは挑戦をしている。	令和元年度	69.7	69.7
		令和2年度	70.6	75.3
4	人が困っていたら進んで助けている。 子どもたちは、困っている人を助けている。	令和元年度	82.2	87.8
		令和2年度	83.4	88.3
5	好きな授業がある。 子どもたちには好きな授業がある。	令和元年度	96.1	97.0
		令和2年度	96.1	96.8
6	勉強したことが分かっている。 子どもたちは授業の内容を理解している。	令和元年度	85.1	86.2
		令和2年度	88.4	81.2
7	友だちに会うのは楽しい。 児童は友達に会うのが楽しみである。	令和元年度	93.1	97.8
		令和2年度	94.8	96.2
8	自分の考えを発表している。 児童は自分の考えを発表している。	令和元年度	70.0	80.7
		令和2年度	64.7	79.9
9	友達の話をつかろうとして聴いている。 児童は分かろうとして聴いている。	令和元年度	90.8	91.8
		令和2年度	93.7	90.8
10	読書をしている。 児童は、読書をしている。	令和元年度	74.7	69.2
		令和2年度	85.9	61.9
11	運動をしている。 児童は運動をしている。	令和元年度	80.7	84.7
		令和2年度	85.7	78.4
12	挨拶をしている。 児童は挨拶をしている。	令和元年度	88.7	82.9
		令和2年度	87.7	84.9
13	やさしい言葉使いをしている。 児童はやさしい言葉使いをしている。	令和元年度	77.2	68.8
		令和2年度	80.3	68.6
14	友達の良いところを見つけている。 児童は友達の良い所を見つけている。	令和元年度	78.7	88.8
		令和2年度	81.1	89.4
15	自分には良いところがあると思う。 児童は自分の良いところを知っている。	令和元年度	77.2	85.5
		令和2年度	74.8	86.2
16	学校のきまりを守っている。 児童は学校のきまりを守っている。	令和元年度	89.3	93.6
		令和2年度	89.7	92.9
17	交通ルールを守っている。 児童は交通ルールを守っている。	令和元年度	95.2	89.2
		令和2年度	96.4	94.2
18	先生は、困ったときに相談にのってくれる。児童は先生に相談できる。	令和元年度	86.4	94.1
		令和2年度	88.3	93.3
19	先生は、あなたの良いところを認めてくれている。児童は認められている。	令和元年度	86.0	92.6
		令和2年度	91.7	94.0
20	先生は分かりやすく教えてくれる。分かりやすく教えられていると感じている。	令和元年度	92.7	92.2
		令和2年度	95.6	91.7
21	家庭学習の習慣が身に付いている。児童には家庭学習の習慣が付いている。	令和元年度	83.1	72.5
		令和2年度	80.2	70.7
22	自主勉強をすることが増えてきている。	令和元年度	62.3	55.4
		令和2年度	65.9	55.3

※本年度よりの項目追加 ICTに関する調査

23	コンピューターやタブレットを使って授業するのは楽しい。【児童のみ】		児童	保護者
		令和2年度	94.4	
24	学校でコンピューターやタブレットを(目的に合わせて)使うことができる。【児童のみ】		児童	保護者
		令和2年度	91.9	
25	家庭でタブレットやコンピューターを用いて情報を収集したり、家庭学習に生かしたりしている。【保護者のみ】		児童	保護者
		令和2年度		51.1

2 今年度の成果

(1)学校教育目標「たくましく 挑戦する子」に向けての育ちが見られる。

「自分(子ども)はたくましいと思う」・・・児童 65.1% (R1) → 64.6% (R2)
保護者 85.6% (R1) → 90.2% (R2) ↑4.6%
「失敗を恐れなくて挑戦している」・・・児童 69.7% (R1) → 70.6% (R2) ↑0.9%
保護者 69.7% (R1) → 75.3% (R2) ↑5.6%

○子どもたちは、今年度も、学校生活の様々な場面で自分の目標を定め、挑戦をしていることがうかがえます。また、記述欄から挑戦する場面を自ら見つける力もついていることが分かりました。ま

校長室チャレンジ

「言葉」を磨く



左上の写真は今年度の「校長室チャレンジ」の掲示です。昨年度までに引き続き、暗唱や楽器演奏など、挑戦のジャンルは様々です。これまでに合格した子は、累計で数百名を越えています。特に「自主勉強ノート」への挑戦は目を見張るものがあります。自分でテーマを決め、毎日の家庭学習の積み重ねが何十冊というノートの厚みに表れています。

1年生から6年生まで、たくさんの挑戦の結果が掲示されることで、校内に「挑戦の波」が広がっています。

また、「言葉を磨く」を合言葉に、短歌や俳句、川柳の募集もしています。右上の写真は、その募集BOXです。回収後、校内での選考を経て、優秀賞が決まり、校長先生から発表がなされます。言葉を磨くために、言葉を考え、見つけ、作品を作り出す姿が、休み時間ごとに見られます。

これらの取組はあくまで一例ですが、これらの取組から、学校教育目標「たくましく 挑戦する子」にむけての育ちが感じられます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、自分たちにはどんなことができるのかを考え、話し合う学級がいくつもありました。そんな取組や気持ちが、新たな「挑戦」や「たくましさ」に繋がっていくとも思います。

(裏面に続きます。)

(2)重点目標「思いやり 認め合い みがき合う仲間」が教育効果を上げている。

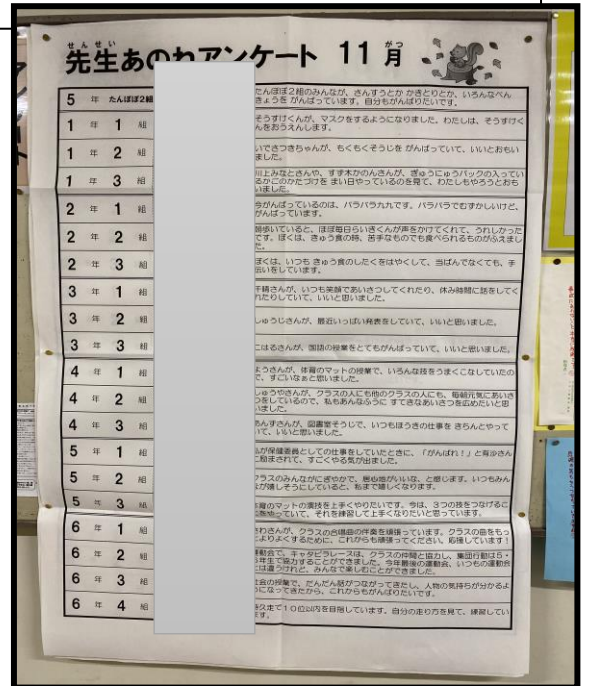
○「学校に行くのは楽しい」	…児童	88.6% (R 1 : 86.6%)	↑2%
	保護者	93.2% (R 1 : 92.2%)	↑1%
○「人が困っていたら進んで助けている」	…児童	83.4% (R 1 : 82.2%)	↑1.2%
	保護者	88.3% (R 1 : 87.8%)	↑0.5%
○「友達に会うのは楽しい」	…児童	94.8% (R 1 : 93.1%)	↑1.7%
	保護者	96.2% (R 1 : 97.8%)	
○「友達の良いところを見つけている」	…児童	81.1% (R 1 : 78.7%)	↑2.4%
	保護者	89.4% (R 1 : 88.8%)	↑0.6%

→学校に楽しく登校し、友達と関わったり、助け合ったりしながら、相手の良さに気付いている様子がうかがえます。

※今年度数値を、令和元年度と比較しています。

右の写真は年間数回行っている「せんせいあのねアンケート」の掲示です。いじめ早期発見のためだけでなく、子どもたち自身が自分の良さや友達の良さを知ることでもあります。良い表れは放送で全校に知らせるとともに、右のように掲示しています。その他にも各学級で「よいところ見つけ」のような活動も行っています。授業や学校生活全般での友達との関わりを通して、思いやる心が育っています。

- 「好きな授業がある」
 - … 児童 96.1% (R 1 : 96.1%)
 - 保護者 96.8% (R 1 : 97.0%)
- 「勉強したことが分かっている」
 - … 児童 88.4% (R 1 : 85.1%) ↑3.3%
 - 保護者 81.2% (R 1 : 86.2%)
- 「友達の話を分かろうとして聴いている。」
 - … 児童 93.7% (R 1 : 90.8%) ↑2.9%
 - …保護者 90.8% (R 1 : 91.8%)
- 「先生は分かりやすく教えてくれる」
 - … 児童 95.6% (R 1 : 92.7%) ↑2.9%
 - …保護者 91.7% (R 1 : 92.2%)
- ➡友達の話を分かろうとして聴き合う子どもたちの姿勢と教職員への信頼感が、授業内容の理解につながっていると思われまます。



須津小では、
「自分の考えを持ち
聴き合い
学びを実感する子」

を研修テーマに、授業改善をしてきました。その中でも特に「聴き合い」を大切に、毎時間の授業を行っています。その成果が表れてきているのだと思います。

授業改善の一環として、3・4年生を対象にT・T(ティームティーチング・複数の教員で授業を行うこと)で算数の授業を行っています。3・4年生の子どもたちから、以下のような声が寄せられています。

- ・近くまで回ってきてくれて、「そこ、ちがうかもよ。」とやさしく声をかけてくれる。(3年生)
- ・困っている人がたくさんいるとき、二手に分かれて教えてもらえることができるから。(3年生)
- ・教えてくれる先生と授業を進める先生とで、役割分担がされているのがいい。(4年生)

このような指導方法の工夫が、子どもたちの学習内容の理解につながっていることが感じられます。また、3・4年生の外国語活動と5・6年生の外国語の授業で、ALT(アシスタントランゲージティーチャー・外国語指導助手)と担任による学習が行われています。

子どもたちが授業を楽しみ、学びを実感しています。ネイティブの発音に触れる授業は、とても貴重な時間です。

ALTと担任による授業→



(3)規則や交通安全に対する意識の高さを保っている。

「学校のきまりを(規則)を守っている」
… 児童 89.7% (R 1 : 89.3%) ↑0.4%
…保護者 92.9% (R 1 : 93.6%)

「交通ルールを守っている」
… 児童 96.4% (R 1 : 95.2%) ↑1.2%
…保護者 94.2% (R 1 : 89.2%) ↑5%

ご家庭での声掛けや各支部で行っている朝の旗振り活動、地域の方による見守りボランティア、毎月15日の安全の日のパトロールなど、教職員だけでなく学校に関わる多くの方々の取組がこうした結果につながっているのだと思います。

3 今後の課題

「自分はたくましいと思う」 …児童 64.6%
「失敗を恐れず挑戦している」 …児童 70.6%
「自分には良いところがあると思う」 …児童 74.8% (保護者 86.2%)
「自分の考えを發表している」 …児童 64.7%・保護者 79.9%
➔自分の良さを自覚する場面をたくさんもつことで、自信をもつことができ、考えや意見を表現できるようになるのではないかと思います。

(1)子どもたちが自分で見つけた課題に挑戦できる環境を整え、自分はたくましいと言える子に!

「たくましい子」「挑戦する子」を目指し、学校や学年、学級で自分の課題に挑戦し、たくましさを追う子が増えてきています。しかしながら、子どもたちはこちらが思っているよりも自分の良さを感じていないようです。子どもたちが自分の良さをより自覚し、自信を持って自分を表現することができるよう継続して支援していきたいと思います。例えば授業では「教室は、間違ふところ。間違ふてもいい場所。」という価値観をより浸透させ、間違ふてしまっても、批判されたり恥ずかしい思いをしたりする雰囲気広がったりすることがない学級作り、学年、学校作りに努めます。

(2)やさしい言葉使いを増やしていきたい。

「やさしい言葉使いをしている」 …保護者 68.6% (児童 80.3%)

子どもたち自身は、時と場に応じてやさしい言葉遣いをしていると考えていますが、保護者や教職員の立場からすると、不十分と感じることが多いようです。引き続き指導を続けたいと思います。

(3)より子どもたちの実態に合った家庭学習・自主勉強を考えていきたい。

「家庭学習の習慣が身に付いている」 …児童 80.2%・保護者 70.7%
「自主勉強をすることが増えてきている」 …児童 62.3%・保護者 55.4%

学校評価のアンケート結果や各学年・各学級の子どもの様子などから、家庭学習の手引きや自主勉強の取組を、校内で推奨し、励まし、工夫していきます。

4 保護者の皆様のご意見より

歯磨きの時間/学校の様子を知りたいというお声/大きな声で歌える時間があればというご意見/運動会の時期について/挨拶ができる子にしたい/マチコミメールについて/安全教育/宿題の出し方について/校長室チャレンジについてなど。

いただいたご意見は、全て目を通しています。すぐに取り入れて改善できるものもあれば、改善するまでに時間がかかるもの、意見として参考とさせていただくものや引き続き検討していくものも、あります。お書きいただいたことのすべてが実施されないこともあることを、ご了承いただきたいと思います。学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。